



- 1 **羅針盤** ものづくりの精神を学ぶ
- 3 これぞ躍進流!! ドラッカー活用術
- 5 カビ、腐朽菌に要注意!
- 6 大規模修繕もお任せください!
- 6 「足場パック」サマーキャンペーンは猛ダッシュ!
- 7 木材劣化診断士が大活躍
- 9 家具を考える

ものづくりの精神を学ぶ



生き物と向き合う厳しさ

私たち住宅業界の人間は、衣食住の一翼を担ういわばものづくりに携わる一員です。その使命責務は、家に住まう人の幸福を実現することですが、それにはきちんとしたものを提供し、それを踏まえて適正な利益を得るという基本を身につけていなければなりません。

そんなものづくりの精神を、同じ衣食住の中でも、人間が生きていく上で最も必要な食料生産の現場で働く農家のみなさんの仕事に触れて、改めて学ぼうと思います。

住宅産業では、現場がよほど遠隔地でなければ未明から動くことはありませんが、農家の朝はいつも早く、当たり前のように未明から仕事をスタートしています。なぜなら、野菜や果物は朝摘みが基本で、これには生物学的な理由があるからです。

一般に、植物は日中に成長します。それには日光と適度な気温、湿度のもとに、水分や養分が必要とされます。逆に、日光が照っておらず、気温も低い夜間には成長しないので、その時に植物は、自分の中に養分を貯め込んでいるのです。

そして、その養分とは糖分やビタミンなどで、私たちが野菜や果物を美味しいと感じたり、体の滋養になったりするものです。つまり、朝一番に収穫することによって、夜のうちにたっぷりと蓄えられた自然の恵みを余すところなく手に入れることができるのです。

朝摘み野菜が美味しいのは、そういう理由があるからです。また、植物の成長は意外に早く、1日収穫が遅れただけでも規格外の大きさに成長し、味においても最も美味しい瞬間を過ぎてしまい、商品価値がなくなってしまうのです。

農業もビジネスです。より美味しく形の良いものを提供しなければ競争に負けてしまいます。まさに生き物と向き合う厳しさがそこにあるのです。

実質年中無休

農業にも住宅産業同様に原材料費がかかります。それは、種苗代をはじめ、ビニールハウスの維持管理費、肥料代、農業機械のリース料、ガソリン代、出荷用ダンボール代など様々です。そこに、前述の商品価値がなくなり売り物にならなくなった野菜や果物を、やむを得ず廃棄処分するコストが上乘せされるので、極めて負担が大きいのです。

そんなコストの中でも、特に大きな割合を占める人件費を抑えなければならず、必然的に家族で農業を営んでいるところが多くなるのです。昨今では農業法人も多く設立されていますが、それでも社員がすべて家族であるような農業法人が多いのも事実です。

人を雇えない理由は、コスト面だけではありません。農業は、生き物の成長と格闘することを余儀なくされるため、天候などの影響で成長が左右され、予定を外れて「収穫待ったなし」となり、休みがつぶれることもしばしばあります。つまり実質年中無休なので、なかなか都合よく人を回すことができず、結果として家族で運営するか、もしくは農業の厳しさを知っている海外からの研修生しか雇えないのです。

ものづくりに携われることを誇りに思う

文芸評論家の小林秀雄氏は、自身の『私の人生観』という文章のなかで、「手仕事をする者はいつも目の前にある物に心を砕いている」と述べ、手仕事にいそしむ農民や職人を大いに愛しました。ものを実際に生産しているという事実を高く評価し、ものづくりの人たちに敬意を払ったのです。

特に、衣食住におけるものづくりの使命責務は大きなものです。衣服を提供することで人前に出られ、食料生産によって人の命をつなぎ、住まいをつくることで雨風や外敵から身を守れるのです。まさに、アメリカの心理学者アブラハム・マズロー氏の欲求階層理論における生理的欲求、安全の欲求を満たすのが、ものづくりの役割なのです。

改めて、住宅産業というものづくりは、豊かな暮らしを支える極めて尊い仕事であることを認識し、それに携われることを大いに誇りに思い、全力で邁進してください。

これぞ躍進流!! ドラッカー活用術 〈『マネジメント編』その5〉



今月も、経営者としての20年以上のキャリアを生かし、経営学者P.F.ドラッカー氏の言葉を捉え、それをどのように躍進の経営に役立てているかをご案内してまいります。現在は、『マネジメント(エッセンシャル版)』(上田惇生・訳)に記載されている内容をお話いたします。私の考えが皆様の経営に関するお考えの一助になれば望外の喜びです。

今月の言葉 その1 **目標と貢献**

「目標がなければ混乱する。目標は自らの率いる部門があげるべき成果を明らかにしなければならない。他部門の目標達成の助けとなるべき貢献を明らかにしなければならない。他部門に期待できる貢献を明らかにしなければならない」

●笠井輝夫の解釈 **本人が行動を決める**

躍進においては「規定業務」の内容に則って全員が役割分業をしています。それは、自動的に補完関係が成り立つような仕組みになっているのです。

また、躍進の場合、事業年度の第4四半期(11,12,1月)で1年間の総括をします。特に11月中旬から12月末までに来期の目標も設定します。残りの時間で今期の目標達成ができるかできないかという分岐点に立たされたとき、社長の役割として社員に気付きを与えるのです。そして、それ以上に言うことはありません。あくまで本人がどうあるべきかを決め行動することが重要だからです。

今月の言葉 その2 **自己管理による目標管理**

「自らの仕事を管理するには、自らの目標を知っているだけでは十分ではない。目標に照らして、自らの仕事ぶりと成果を評価できなければならない。そのための情報を手にすることが不可欠である。しかも、必要な措置がとれるよう、それらの情報を早く手にしなければならない。(中略)自己管理による目標管理は、人間というものが責任、貢献、成果を欲する存在であると前提する」

●笠井輝夫の解釈 **やる気にさせ成果に結びつける**

責任の有る無しは、まさに本人の自覚しかないので。そして貢献は、躍進の「規定業務」にあるように、バトンの渡し・貰いの連続なのです。周りのやる気のない人たちすら、自分の力でやる気にさせるようにすることにより、成果に結びつくものと考えてください。

それには、まず共感しあうことです。それにより連帯意識が生まれ、結束が固くなり、絆になるという連動した動きになるのです。

そして、自己管理による目標管理とは、まさに躍進が取り入れている社員教育プログラム「3KM 生涯幸福設計」にほかなりません。自分と言うものがしっかりしていなければ仕事や会社を良くすることはできないからです。

今月の言葉 その3 **成果は曲芸ではない**

「成果とは何かを理解しなければならない。成果とは百発百中のことではない。百発百中は曲芸である。成果とは長期のものである。すなわち、まちがいや失敗をしない者を信用してはならないということである。それは、見せかけか、無難なこと、下らないことにしか手をつけられない者である」

●笠井輝夫の解釈 **百戦錬磨を目指す**

百発百中は結果論です。そして躍進では、その前に百戦錬磨であるべきとしています。目標、目的に対して、いかに成し遂げるかを考え、絶対に達成するという精神と、そこに向かう努力を継続する心構えが重要なのです。そして失敗を踏まえて、その経験を成功に結び付けなければなりません。

確かに、百発百中を実現する人物も存在しますが、それは、そこに至るまでの努力があったればこそで、そこに注目しなければならないのです。そうすれば、それはレアケースと認識することができ、それよりも誰もが取り組まなければならないのは、百戦錬磨を目指して不断の努力を実行することであると気付くものです。

今月の言葉 その4 **真摯さを絶対視する組織**

「真摯さを絶対視して、初めてまともな組織といえる」

●笠井輝夫の解釈 **「基本動作」に集約**

前号に続き真摯さの重要性を説明しますが、躍進における真摯さは、「基本動作」に集約されます。何事においても誠実かつ公明正大に真心をもって接し、嘘偽りが無いことが「基本動作」の精神軸の中心にあるのです。まさに「基本動作」の心の動作であり、感謝の心、誠実の心なのです。それは、姿の動作に現れ、礼儀と躰からなる人格形成が実現します。

そしてそれこそが、躍進が実践している真摯さを絶対視する組織づくりの基本なのです。

カビ、腐朽菌に要注意！

床下に潜んでいるのはシロアリだけではありません。ゴキブリやダンゴムシ、ゲジゲジなど様々な虫がいるものです。

しかし、虫にばかり注意することなく、カビや木を腐らせる腐朽菌の生息にも注意してください。床下の湿気が主な発生原因ですが、特に腐朽菌は恐ろしく、その名の通り、床下の木部を腐らせ、スポンジの様にフカフカにしてしまうのです。そうになると、シロアリが「美味しいエサがあるぞ」とばかり、寄って来やすくなってしまいます。

定期的な床下点検、防蟻防腐処理は皆さんが思っているよりはるかに重要です。躍進の木材劣化診断士(7ページ参照)が適正調査しますので、是非ご用命ください。

大規模修繕もお任せください！

躍進では大規模修繕工事も行なっております。埼玉・所沢市において、某ハウスメーカーさまのご依頼で、7階建て商業ビルの防水工事・塗装工事・タイル工事に当たります。

戸建てで培ってきた様々な技術は、大型施設でも大いに生かすことができ、高い評価をいただいております。大規模修繕も躍進にお任せください。ご連絡をお待ちしております。

「足場パック」サマーキャンペーンは猛ダッシュ！

ただいま躍進では、リフォーム総合提案「足場パック」のサマーキャンペーンは、シーズン終盤を迎えてまさに猛ダッシュしております。そして、そのキャンペーンを代表する商品が、『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(次ページ写真参照)です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

「床下3点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。



木材劣化診断士が大活躍

床下点検に多くの実績がある躍進には現在、4人の**木材劣化診断士**がおります(次ページ写真参照)。その活躍もすっかりおなじみになりました。

木材劣化診断士は、木材の生物劣化(腐朽と虫害)の診断技術の専門家です。外構の中心となる木質構造物の生物劣化の現況を診断する様々な能力を有しています。また、補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。



木材劣化診断士が習得した診断技術は、住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と外構の劣化のポイントを押さえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握しています。

そんな躍進の木材劣化診断士は、躍進の永遠の指針でもある「**お客様第一主義**」を徹底しております。すべての仕事は、お客さまからスタートしなければならないのです。まさに、「お客様第一主義」こそ木材劣化診断士の原点と心得ております。

常に、お客さまの立場に立って物事を考えます。そして、お客さまのニーズを掴み、それにすばやく的確に応えることが躍進の使命責務と考えております。

「地域のホームドクター」の活躍が本格化

また、躍進の木材劣化診断士は、「**地域のホームドクター**」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス（住宅）が健全でなければなりません。そして、肝心なのは、治療だけでなく、「**住まいの予防医学**」を実践することです。

その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって、食害・侵食された家屋の耐久性は、著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。その最前線で活躍しているのが、躍進の木材劣化診断士であり、「地域のホームドクター」としての役割を果たしているのです。

床下点検は、土台や束などの木材の状態から、蟻害や羽蟻の発生を確認するのですが、浴室などの水周りだけでなく玄関周辺も重点的に点検します。なぜなら羽蟻が発生しやすいのに、見落としがちになってしまうからです。

こうした点を満遍なくチェックするのが、「地域のホームドクター」です。そして、「住まいの予防医学」を実践し、地域のみなさまのご期待に応えるため活躍していきます。

そんな木材劣化診断士の「地域のホームドクター」は、その活躍が今まさに本格化しています。床下点検からはじまる「家の安心・安全」は、「お客様第一主義」の躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください。

家具を考える 住宅コラム

ある内装工事業者の調査によれば、新築戸建ての新居で利用する家具に関して、引っ越しの際に家具を買い替えた人は9割以上になったとしています。しかし、その一方で、これまで使っていた家具に愛着があり、これからも使っていきたいと願って、それを住まい選び、住まいづくりの基本に置くお施主さまもいらっしゃいます。その際に、十分に考慮しなければならないのは、家具のサイズや形なのです。

注文住宅ならば、設計段階で日常に利用する予定の家具について十分にリサーチし、玄関やテラス窓などをはじめ、各部屋に至る廊下や階段などの動線のサイズも十分に確保できますが、分譲の一戸建てやマンションの場合、搬入間口のサイズが決まっているので、当然ながらそれ以上の大きさの家具は、屋内に持ち込むことができません。

こういった点については、お客さま側が100%把握していなければならないと考えがちですが、業者側が確認不足・説明不足を指摘されクレームに発展することもあります。

ちなみに、こだわりの強い家具の1位はソファです。テーブルなどは組み立て式が多いのですが、ソファはそういうわけにはいかないものがあります。ましてやアンティーク家具にこだわりのあるお施主さまですと、よりこだわりが強くなる可能性は高いと思います。

上物同様に、もしくはそれ以上に家具にこだわるお施主さまは、意外に多くいらっしゃいます。必ずそのご要望を確認したうえで、住まいのご提供を進めてください。

<p>株式会社 躍進</p> <p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	<p>事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断</p>
---	---	---